

黒毛和牛の生産コスト

令和2年度はコロナ禍において外食等で黒毛和牛の需要が低下したことで、素牛価格も大きく下落した1年となりましたが、今年度におき

ましては、一昨年の令和元年度と同様の水準まで価格が戻ってきております。

そこでよく聞かれるのが「黒毛和牛は儲かっていいねとよく言われる」ということです。黒毛和牛素牛の生産コストについて少しご紹介したいと思います。

国から開示されているもので最新の令和元年度黒毛和牛素牛1頭の生産費は約58万円（税抜）となっており、その4割が餌代となっています。なお、平成21年度の黒毛和牛素牛1頭の生産費は約48万円となっており、ここ10年で10万円の増加となります。増加の内容としては餌代が6万円以上となっており、作業機械の導入に伴って増加する減価償却費は2万千円から2万5千円へ4千円程度とほぼ増加していません。

J Aしずないの直近市場での黒毛和牛素牛の平均単価は約75万円であり、消費税を抜くと約68万円となります。生産費を引いた利益の中から導入牛の購入代金などの返済などを行っていきます。

黒毛和牛は繁殖として飼い始めてから、分娩まで約1年、生まれた子牛が販売できるまでさらに10ヶ月近くかかります。牛の歩みと同じようにゆっくり1歩ずつの積み重ねです。

病気に弱く、すぐお腹を壊したり、風邪を引いたりします。



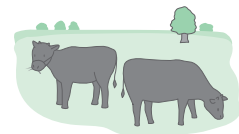
黒毛和牛素牛 市場販売成績 (令和3年6月市場～8月市場)

ホクレン素牛市場はコロナ禍前の一昨年と同様の水準まで平均価格が戻りました。

※取引結果については、安平町・ホクレン南北北海道市場でのもの。（取引価格は税込み）

市場		販売頭数	売却金額(千円)	平均単価(円)
6月	去勢	44	35,198	799,950
	めす	32	21,310	665,947
	計	76	56,508	743,528
7月	去勢	30	24,717	823,900
	めす	29	21,162	729,717
	計	59	45,879	777,606

市場		販売頭数	売却金額(千円)	平均単価(円)
8月	去勢	42	34,287	816,357
	めす	25	15,782	631,268
	計	67	50,069	747,294



ホクレン南北北海道市場JAしずない平均価格

